

精神障害・発達障害がある LGBTQの福祉サービス利用と、 就労支援について考える

○薬師 実芳（認定NPO法人ReBit 代表理事）
中島 潤・石倉 摩巳（認定NPO法人ReBit）

認定NPO法人ReBit（りびっと）
03-6278-9909 / info@rebitlgbt.org
ホームページ：<https://rebitlgbt.org>

団体概要

ReBitについて

Vision

LGBTQを含めたすべての子どもが
ありのままで大人になれる社会の創出

Mission

- 1) LGBTQの子ども・若者特有の困難の解消
- 2) 多様性を包摂する社会風土の醸成

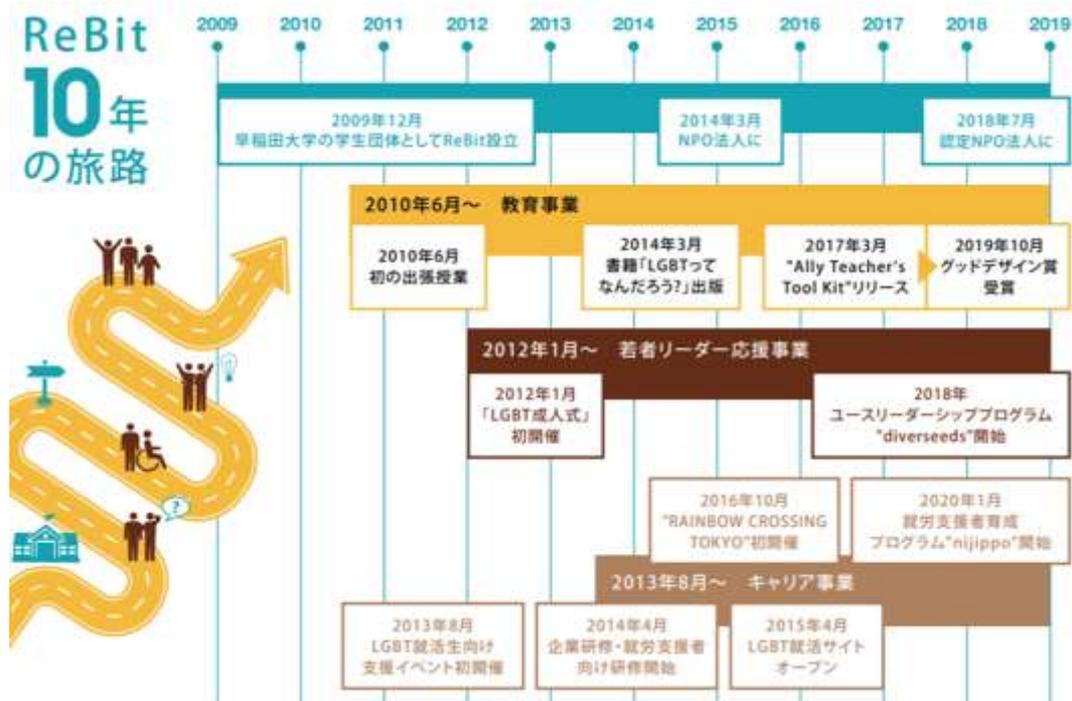
沿革

2009年12月学生団体として設立
2014年3月NPO法人化
2018年7月認定NPO法人に

メンバー構成

理事6名、監事1名
有給職員13名（常勤8名、非常勤2名）
ボランティアメンバー のべ600名
その他、外部アドバイザーや協力団体多数

活動概要



これまでのソーシャルインパクト

- キャリア支援を提供した人数：5100人
- 企業・就労支援機関への啓発資材提供：1.5万冊
- 教材提供数・教材動画再生数：3.5万部・10.5万回
- 研修提供回数：1484回
- 研修受講者数：20万人
(2021年度までの累計実績)

ReBitの取り組む事業

教育事業



教育現場での普及啓発（2010年～）

- 子どもや教員/行政担当者に授業/研修実施(1090回、15.3万人)
- 多様な性に関する本、映像教材などを作成（3.5万部発行/10.5万回再生）。グッドデザイン賞を受賞。教科書監修。
- 教職員向けオンライン情報センター「Ally Teacher's School」運営、LGBTの教育効果に関する調査実施

若者育成



LGBT若者リーダー応援（2011年～）

- 日本最大級の、LGBTの若者をエンパワメントするイベント「LGBT成人式」の開催（17地域、5500人参加）
- 各地の若手リーダー応援するプログラム「diverseeds」実施（19地域、55人育成）

キャリア事業



若者のキャリア応援（2013年～）

- 就活生/求職者等へキャリア支援の提供（5100人）。
- 企業/キャリア支援者研修（394回、4.7万人）、教材提供（1.5万部）、キャリア支援者育成プログラム提供（30名）。
- 国内最大級のダイバーシティ・キャリアフォーラムを開催(のべ参加55.6万人、企業出展のべ126社。厚労省、文科省等後援)
- ダイバーシティに関する情報サイト運営、キャリアに関する調査

福祉事業



福祉サービス事業の展開（2021年～）

- 日本初のLGBTQフレンドリーな就労移行支援事業所（障害がある方の就活支援を行う福祉サービス）を渋谷区にて開所。精神・発達障害があるLGBTQを中心に、支援を行う。
- LGBTQの福祉利用に関する調査実施、支援者向け研修の実施等

福祉の観点からLGBTQ を考える重要性

< 現状の課題 > 安全網であるはずの福祉を LGBTQは安心/安全に利用できない

精神障害
生活困窮等

- LGBTQであることは、障害ではない。しかし、LGBの25%、Tの35%がうつを経験するなど、LGBTQは精神障害における高リスク層 (*1)
- 過去1年で預金残高が1万円以下になったLGBは22.3%、Tは31.3%。LGBTQは生活困窮における高リスク層(*2)

- LGBTQの76%が、行政・福祉利用における不安や困難を経験 (*3)

自死
リスク

- LGBTQは自死における高リスク層。自殺念慮をもったことがあるTは58% (*4)。
「自殺総合対策大綱」にも懸念が示されている。
- LGBTの自殺・うつによる社会的損失の試算値(暫定)は1,988~5,521億円との調査も (*5)。

*1: 特定非営利活動法人虹色ダイバーシティ、国際基督教大学ジェンダー研究センター (2015) 「LGBTに関する職場環境アンケート」

*2: 特定非営利活動法人虹色ダイバーシティ (2021) 「職場のLGBT白書」

*3: 認定NPO法人ReBit (2021) 「精神・発達障害がある性的マイノリティの求職活動に関する調査」

*4: 中塚幹也(2010)「学校保健における性同一性障害: 学校と医療の連携」『日本医事新報』4521:60-64

*5: 独立行政法人 労働政策研究・研修機構 (2019) 「性的マイノリティの自殺・うつによる社会的損失の試算と非当事者との収入格差に関するサーベイ」

福祉が安心/安全に利用できることで、
自分らしく生活を続けられる基盤を

精神障害・生活困窮等

生活の継続
・回復

自死
リスク

調査報告

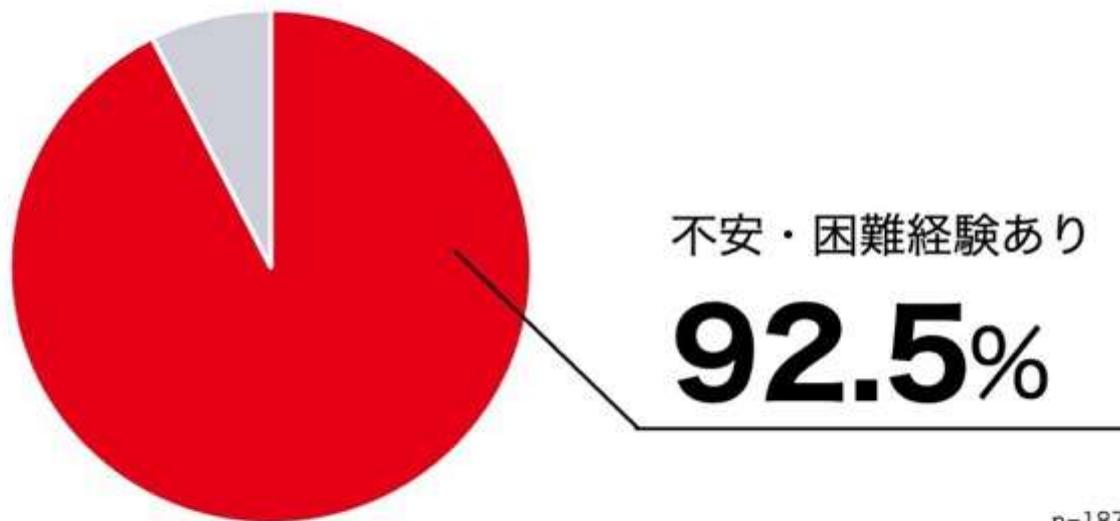
「精神・発達障害がある 性的マイノリティの求職活動 に関する調査」

『精神・発達障害がある 性的マイノリティの求職活動に関する調査』

- 実施期間：2021年5月1日（土）～23日（日）
- 実施方法：インターネット
- 対象者：このアンケートの対象者は、以下すべてに当てはまる方です。
 - 1) これまでに国内で求職活動の経験がある方
 - 2) 求職活動時に、性的マイノリティであると自認していた方
 - 3) 求職活動時に、精神・発達障がいの診断を受けていた方、
もしくは精神科医等へ定期的な通院をされていた方。
(障がい者手帳の有無にかかわらずお答えいただけます)
- 回答者：260名（うち、有効回答206名）
- 実施者：認定NPO法人ReBit

1. 求職時、性的マイノリティ かつ障害があることに 由来した困難が多い

求職時の、性的マイノリティかつ障害があることに由来した不安や困難経験



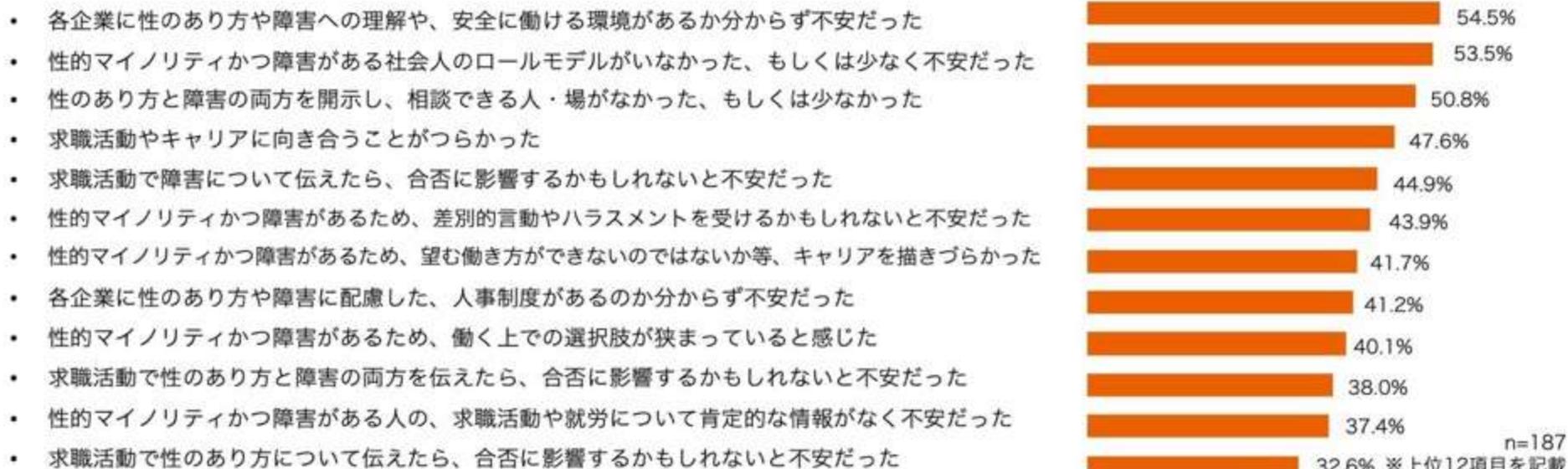
n=187

92.5% が、求職時に性的マイノリティかつ障害があることに由来した不安や困難を経験

※アンケート概要：<回収期間>2021年5月1日～23日 <調査方法>SNS等インターネットで募集
<回答数>260 <調査実施主体>認定NPO法人ReBit



求職時の、性的マイノリティかつ障害があることに由来した不安や困難経験（詳細）

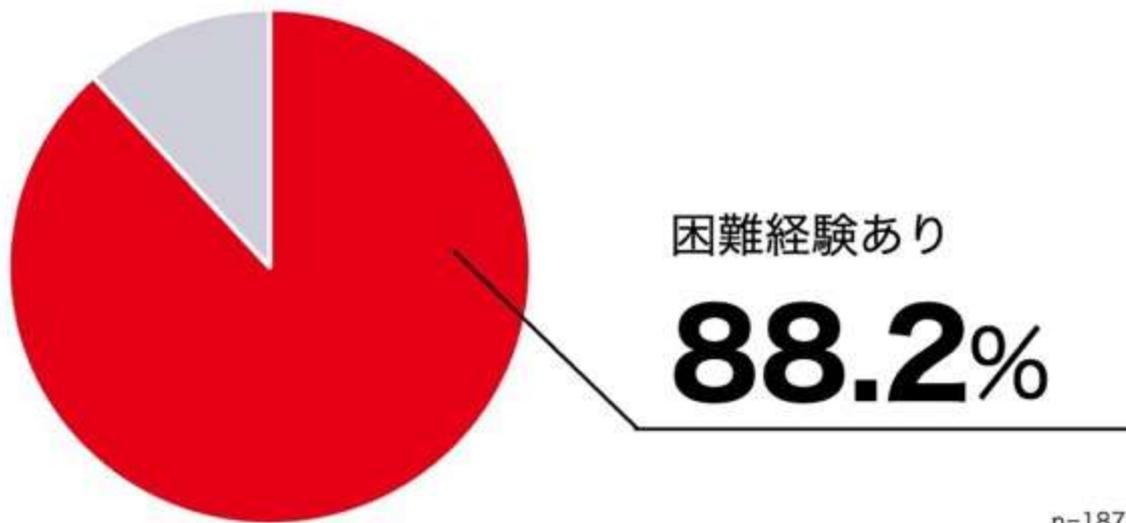


複合的マイノリティであることで、安全に働ける職場がないのではとの不安、相談できる場やロールモデルの不足、開示することによる採用への悪影響や差別・ハラスメントの恐れが挙げられた。

※アンケート概要：<回収期間>2021年5月1日～23日 <調査方法>SNS等インターネットで募集
<回答数>260 <調査実施主体>認定NPO法人ReBit



面接など選考時の、性のあり方や障害に由来した困難・ハラスメント経験



n=187

88.2% 面接など選考時に、性のあり方や障害に由来した困難・ハラスメントを経験

※アンケート概要：<回収期間>2021年5月1日～23日 <調査方法>SNS等インターネットで募集
<回答数>260 <調査実施主体>認定NPO法人ReBit

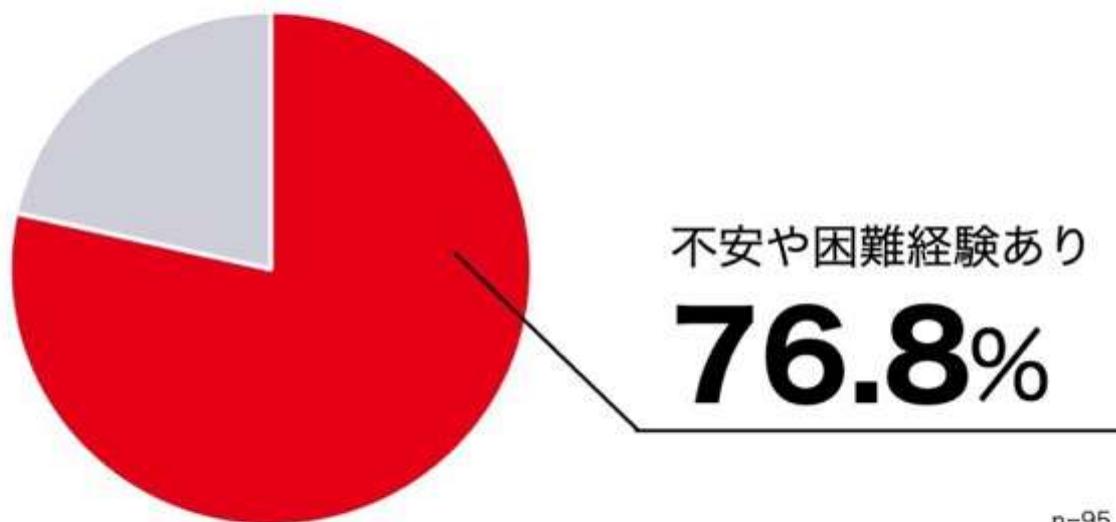


<自由回答>

- 採用面接時、障害とトランス女性であることを理由に、採用をする意志がないことを明言された。（50代、トランスジェンダー女性、精神障害）
- 採用面接で突然、社長から「君はホモか？」と聞かれ、否定したが、就職してからも「ホモか？」と何度も聞かれ、体調を崩して出社できなくなり、退職した。（40代、ゲイ、精神障害）
- 精神疾患が悪化して自宅療養中。LGBTQであるだけでも仕事を探すのが困難ななか、精神疾患もあるとなるとさらに困難。自分のような存在が不安なく働ける世の中になってほしい。（20代・FtXトランスジェンダー/パンセクシュアル、精神障害）

2. 行政・福祉サービスが 利用しづらい

障害や就労に関する行政・福祉サービス利用における不安や困難経験



76.8% が、障害や就労に関する行政・福祉サービス利用における不安や困難を経験

※アンケート概要：＜回収期間＞2021年5月1日～23日 ＜調査方法＞SNS等インターネットで募集
＜回答数＞260 ＜調査実施主体＞認定NPO法人ReBit



障害や就労に関する行政・福祉サービス利用における不安・困難経験（詳細）

■ 利用に関して



- ・ 性のあり方に関連し、どこだったら安心して利用できるかわからなかった（48.4%）
- ・ 利用時にカミングアウトをすべきか、するとしたらどの範囲ですべきか分からず困った（41.1%）
- ・ 性のあり方を伝えたら、利用を断られたり、不利な対応やハラスメントを受けるかもしれないと思った（30.5%）

■ 支援者・職員に関して



- ・ 支援者・職員が、性のあり方に関する知識や理解がなくて困った（29.0%）
- ・ 支援者・職員から、性的マイノリティでないことを前提とした質問や発言を受けた（28.0%）
- ・ 支援者・職員が、性のあり方を笑いのネタにしたり、否定的な言動をしていた（12.9%）

■ 利用者に関して



- ・ 利用者から、性的マイノリティでないことを前提とした質問や発言を受けた（31.7%）
- ・ 利用者が、性のあり方に関する知識や理解がなくて困った（30.0%）
- ・ 利用者が、性のあり方を笑いのネタにしたり、否定的な言動をしていた（28.3%）

※いずれも、上位3つを記載

安心して利用できる行政・福祉サービスがわからない、性のあり方を伝えたら利用を断られるのではと利用に関する不安や、支援者・職員や他利用者の無理解や否定的言動が挙げられた。

※アンケート概要：＜回収期間＞2021年5月1日～23日 ＜調査方法＞SNS等インターネットで募集
＜回答数＞260 ＜調査実施主体＞認定NPO法人ReBit

 ReBit

<自由回答>

- 支援者から「女の子らしいね」「女の子だから力仕事はないよ」など
とよく言われ、ここではセクシュアリティを開示し相談できないと感じた。
(20代、レズビアン、精神障害)
- 障害支援を行う施設や制度がLGBTQの想定を一切していないように感じる。
生きるのも就職も大変で、もう生きていけないと感じています。
(20代、トランスマスキュリン、精神障害/発達障害)
- 支援者に、障害とLGBTQの両方に関する知識の両方を持っていただいただけると助かります。発達障害があるLGBTQですと伝えると、
「どうしよう」とオロオロされることが多いです。(20代、パンセク
シュアル、発達障害)
- 就労移行など障害福祉サービスにトランスジェンダーであることを開示することが不安で、相談できませんでした。障害フレンドリーだけでなく、LGBTQやダイバーシティにもフレンドリーであってほしい。
(30代、トランスジェンダー男性、発達障害)

実践報告 就労移行支援事業所 「ダイバーシティキャリア センター」

ダイバーシティキャリアセンターとは？

<概要>

- LGBTQなど多様性にフレンドリーな就労移行支援事業所(福祉サービス)。なお、LGBTQフレンドリーを謳う就労移行支援事業所は、日本初。
- さまざまなマイノリティ性をもつ「複合的マイノリティ」の人たちも安全・安心に利用できる就労移行支援事業所を目指し、一人ひとりの自分らしい生き方・働き方を応援します。

<特色>

- 2013年よりLGBTQ等のキャリア支援や、多様性推進に取り組む企業200社と協働してきた、認定NPO法人ReBitが運営。LGBTQの就活支援への専門性、理解ある企業多数と関係性があること、支援員が当事者/理解者であることが特色です。

<実績>

- 2021年8月より自主事業として支援開始、2021年12月に東京都渋谷区で開所。
- 1年でのべ2000件の相談が、全国から届いています。



事業所の概要

- 場所：東京都渋谷区代々木3-26-2 4F（初台駅徒歩7分、新宿駅徒歩11分）
- 開所：2021年12月1日
- 時間：平日9:00～18:00（訓練時間は10:00～15:00）
- 事業：就労移行（定員20名）
- 対象者：精神・発達障がい・後天性免疫不全症候群(HIV)など。
障害以外もマイノリティ性がある「複合的マイノリティ」も歓迎。
- サイト：<https://diversitycareer.org>
- 連絡先：03-4577-9735 / dcc@rebitlgbt.org

※就労移行とは

- 就職を目指す障がいがある方へ就職に必要な知識やスキル向上のためのサポートを提供する障害福祉サービス。
- 約9割の方は無料でご利用されています。
- 利用期間は、原則最大2年間。

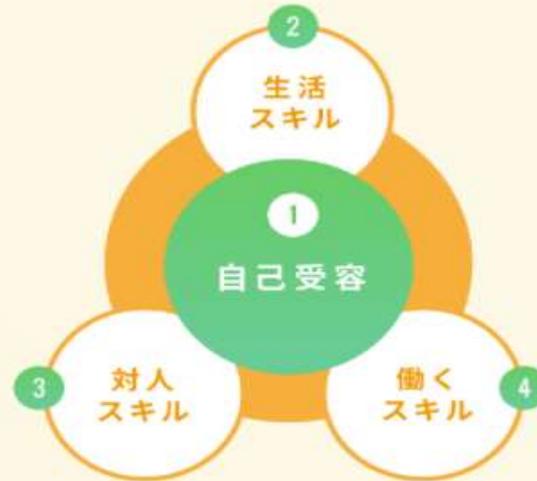
※利用対象者

- 障害や疾患がある人が、在住の市区町村の許可を得て利用できます。
- すでに働いている方や、遠方在住の方は、一般的には利用できません。
- LGBTQでなくても利用できます。
- なお、LGBTQは障害ではないので、LGBTQであっても障害や疾患がない方は利用できません。



支援の4つの柱

ダイバーシティキャリアセンターでは、「自己受容」を中心とし、4つの柱に沿った支援プログラムを提供します。



1

自己受容

自身の多様性を理解・受容するプロセスを通じ、自分らしい生き方・働き方を探します。

2

生活スキル

生活リズムを整え、安定的就労の基盤を整えます。また、ストレス対応など、セルフマネジメントスキルも身につけます。

3

対人スキル

相手を尊重しつつ、自分の希望も伝える力を向上。無理なく職場の人たちと関わりあうスキルを身につけます。

4

働くスキル

ダイバーシティに取り組む企業との交流・実習を通じ、仕事理解を深めます。また、職場で求められるスキルを身につけます。

提供サービス

- 働くことを目標とし、さまざまなスキルに応じた訓練を行います。
- 人/状況によりりますが、週5日訓練を行います。（単発利用ではない）

多様な講座や職業訓練



多様な社会人と交流する

様々なちがいをもち社会人との交流を通じて、多様な生き方・働き方と出会えます。



自分らしいスタイルを探す

自分らしい生き方・働き方とは？を考える講座が満載。性別によらず、自分らしい服装やメイクを試せる機会もあります。



自分も周りも大事にするライフスキル

ストレスに気づくスキルや、相手も自分も尊重するコミュニケーションを学びます。



職場で働くスキル

パソコンスキルやビジネススキルを職場さながらの訓練を通じて会得しましょう。

個別の就職支援



多様性に取り組む企業と出会う

ダイバーシティに取り組む企業の担当者との交流、説明会や実習など、様々な方法で自分らしく働ける企業とのご縁をつくります。



応募書類の作成や面接アドバイス

応募書類や面接方法をキャリアコンサルタントが個別支援。あなたの自分らしく働くに向け伴走します。

定着支援

就職してからも、自分らしく働き続けられるために、相談対応や企業への環境調整依頼などのサポートを行います。

LGBTQも安心/安全に福祉利用ができるため 3つの柱を推進



(参考資料) 資源のご案内

就労移行支「ダイバーシティキャリアセンター」
へのご相談はこちらから（無料）
関東外の在住であっても連携/対応できますので、
お気軽にお声がけください。



URL : <https://diversitycareer.org/contact/>

LGBTQの方であればどなたでもご利用いただける 個別オンラインでのキャリア支援（無料）



<https://rebitlgbt.org/news/8392>

キャリア支援者向け冊子（無料）



https://rebitlgbt.org/project/kyozai/lgbt_careerhandbook_form